

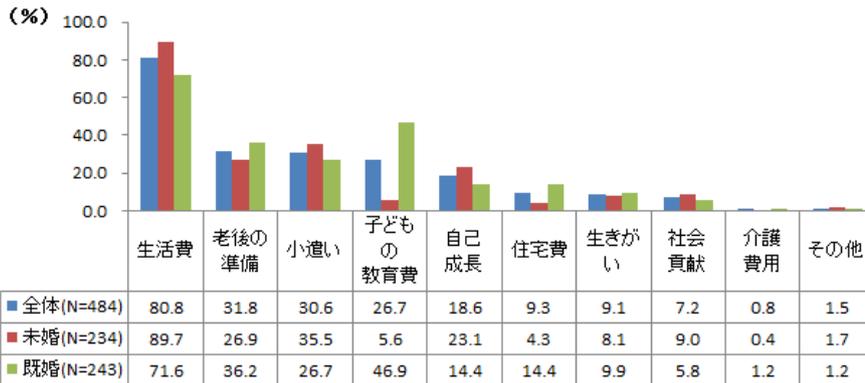
2017年働く女性に関するアンケート調査結果

2017.9.8 愛媛銀行 ひめぎん情報センター

【調査対象】	愛媛県内に勤務する女性 960人	【有効回答率】	50.4% (484人)
【調査時期】	2017年8月上旬	【調査方法】	愛媛県内支店にてお客様に配布、郵送返却
-----回答者の構成-----			
【平均年齢】	38.7歳	【勤続年数】	9年4ヵ月
【未既婚別】	未婚 48.3% 既婚 50.2% 無回答 1.5%	【平均年収】	250万円
【就業形態】	正社員 64.5% 非正社員 34.3% 無回答 1.2%		
【職種】	会社員 83.3% (うち事務系 68.7% 営業・販売 22.6% 製造・技術 4.0% 無回答 4.7%) 公務員 4.8% その他 10.3% 無回答 1.6%		

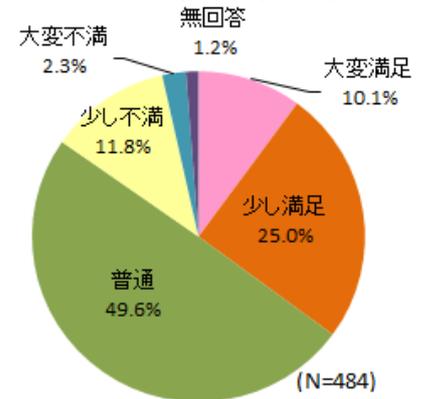
1. 働き方について

(1) 仕事の目的 (複数回答)



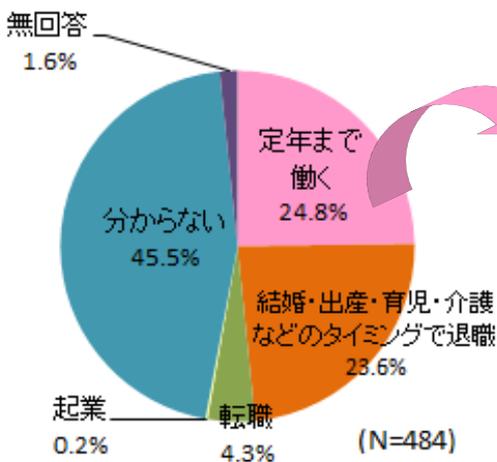
全体では、「生活費」が最も多く8割以上。次いで「老後の準備」が3割以上を占めており、前回調査(2013年)第4位から第2位に。未婚は「小遣い」、既婚では「子どもの教育費」や「老後の準備」が多くみられた。

(2) 現在の仕事(職場)に対する満足度

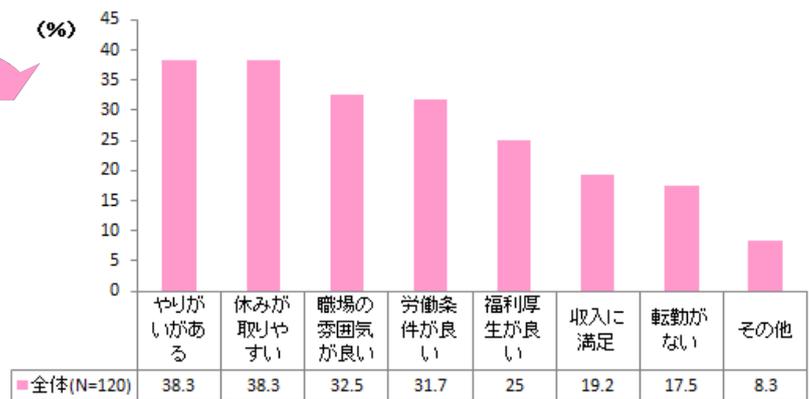


満足(「大変満足」+「少し満足」)は35.1%と、不満(「少し不満」+「大変不満」)の14.1%より多く、大きな不満を抱えながら仕事をしている人は少ない。

(3) 今後も現在の仕事を続けていく意思

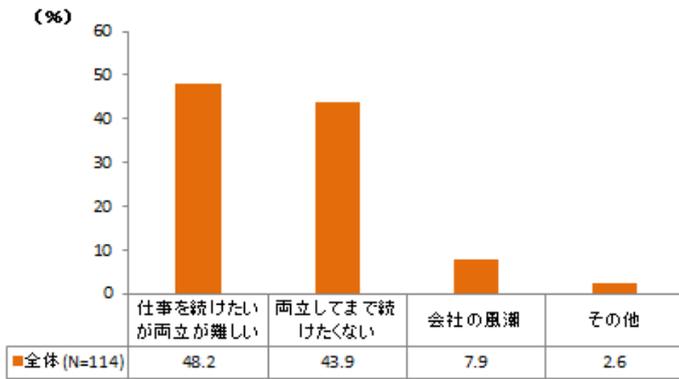


(4) 定年まで現在の職場で働きたい理由 (複数回答)

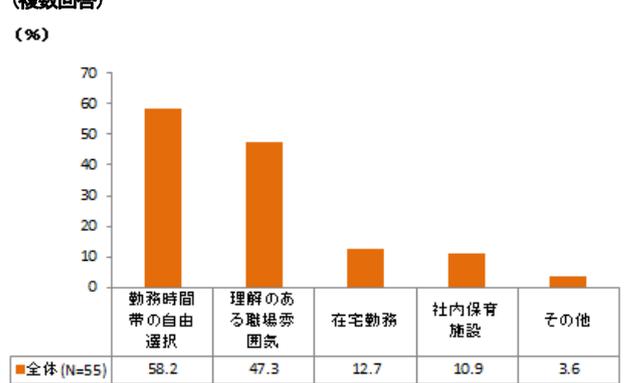


- ・今後も現在の仕事を続けていく意思があるかどうか「分からない」が最も多く4割以上。
- ・「定年まで働く」と回答した人で、現在の職場で働きたい理由として多かったのが「やりがいがある」と「休みが取りやすい」。仕事を長く続けていくためには、精神面と職場環境等のバランスが取れていることが重要となってくるようだ。

(5) ((3)で「結婚・出産・育児・介護などのタイミングで退職」と回答した人のみ) 退職する理由 (複数回答)

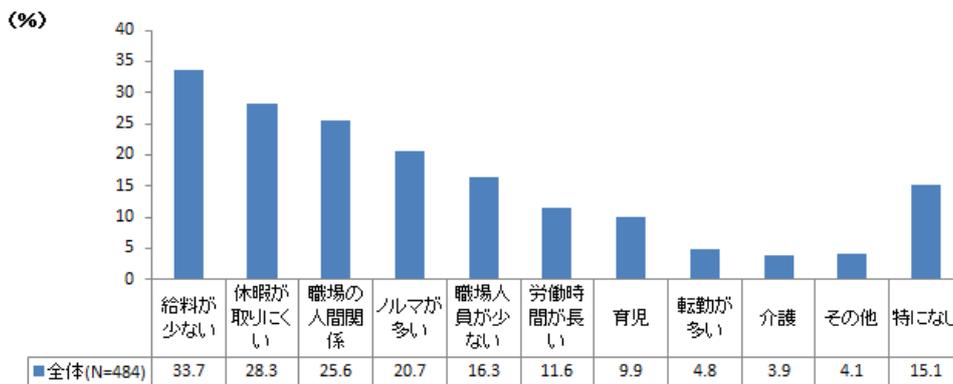


(6) ((5)で「仕事を続けたいが両立が難しい」と回答した人のみ) どのような環境があれば仕事を続けることができると思うか (複数回答)



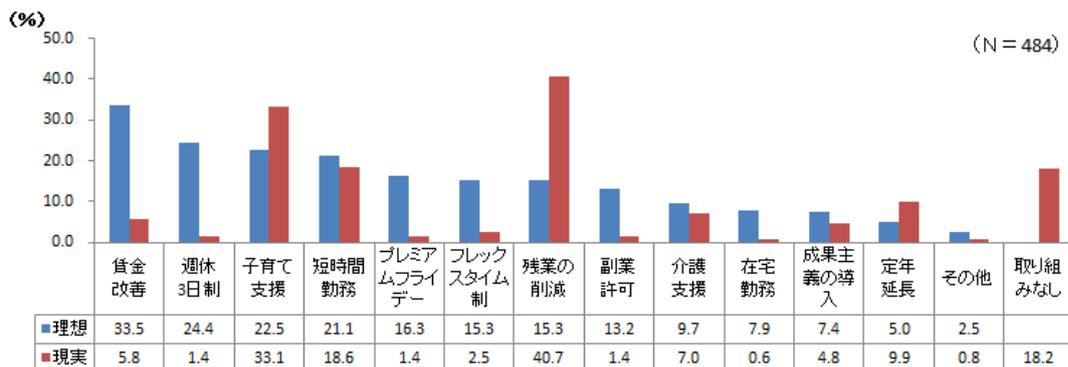
・退職する理由としては「仕事を続けたいが両立が難しい」が最も多く、48.2%。その中で、「勤務時間帯の自由選択」と「理解のある職場雰囲気」があれば仕事を続けていくことができると考えている人が多い。仕事を続ける意思があっても、職場環境が整っていないと続けることが難しいと感じている人が多いようだ。

(7) 仕事を続けていく上での悩み (複数回答)



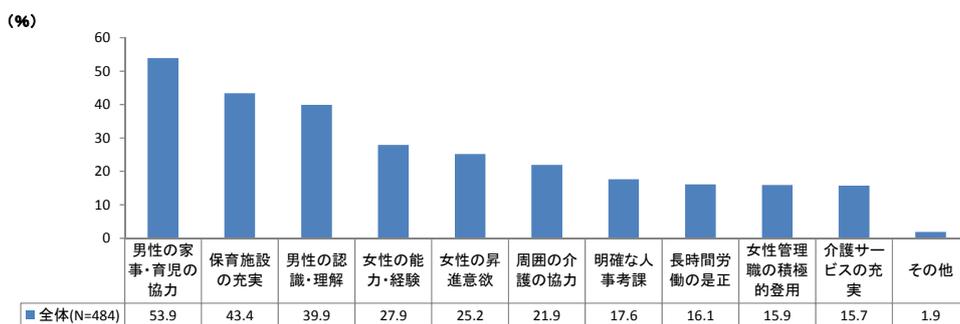
仕事上の悩みでは「給料が少ない」が最も多く、次いで、「休暇が取りにくい」と続いている。仕事のモチベーションには給料や休暇などが関わってくるとうかがえる。

(8) 職場にあったらいいと思う制度・働き方と職場で実際に取り組みされている制度・働き方 (複数回答)



・理想としては「賃金改善」や「週休3日制」を望んでいる人が多く、現実としては「残業の削減」、「子育て支援」の実施が多い。職場に求めていることと職場の現状とのギャップがうかがえる。

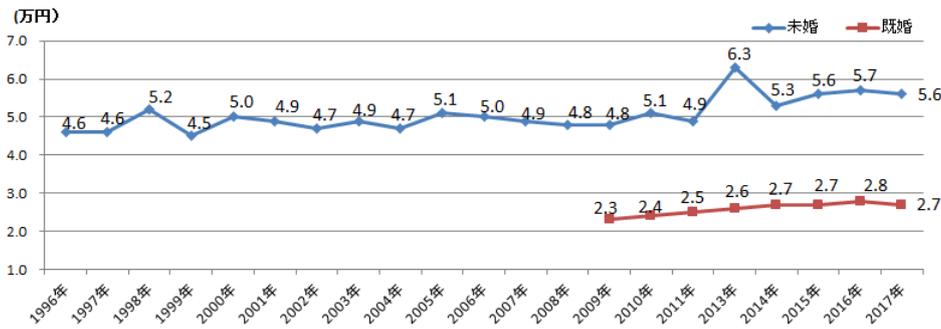
(9) 「女性活躍」を進めるために必要だと思うこと (複数回答)



「男性の家事・育児の協力」が最も多く半数以上。「男性の認識・理解」も多く、女性活躍のためには男性のサポートも必要だと感じている人が多い。

2. マネー感覚について

(1) 月々の小遣い



未婚・既婚共に前回より小遣いが1,000円減少。

(2) 小遣いの使い道 (複数回答)

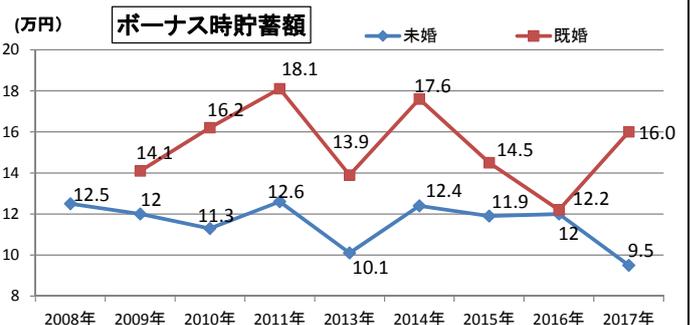
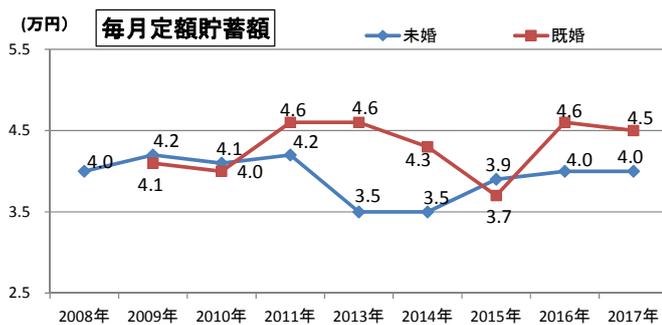
全体			未婚		既婚			
第1位	衣服代	66.7%	第1位	飲食代	75.6%	第1位	衣服代	60.5%
第2位	飲食代	65.9%	第2位	衣服代	73.5%	第2位	飲食代	56.4%
第3位	美容関連	47.5%	第3位	美容関連	50.0%	第3位	美容関連	45.7%

全体で上位3項目は「衣服代」(前回比▲5.0ポイント)、「飲食代」(同▲5.5ポイント)、「美容関連」(同▲3.1ポイント)と、順位は前回から変わらずだが、割合はそれぞれ減少。

(3) 貯蓄のタイプ

	全体	未婚	既婚
①毎月定額を貯蓄	39.7%	37.6%	41.2%
②毎月定額かつボーナス月には増額	18.4%	20.1%	17.3%
③ボーナス月のみ貯蓄	2.3%	2.6%	2.1%
④定額ではなく余った分を貯蓄	30.0%	28.2%	31.7%
⑤貯蓄していない	4.6%	4.7%	4.1%

毎月定額貯蓄をしている人(①「毎月定額を貯蓄」+②「毎月定額かつボーナス月には増額」)は全体で58.1%と、半数以上を占めている。



(4) 現在の貯蓄額

全体 443万3,000円 未婚 331万8,000円 既婚 524万3,000円 (世帯貯蓄)

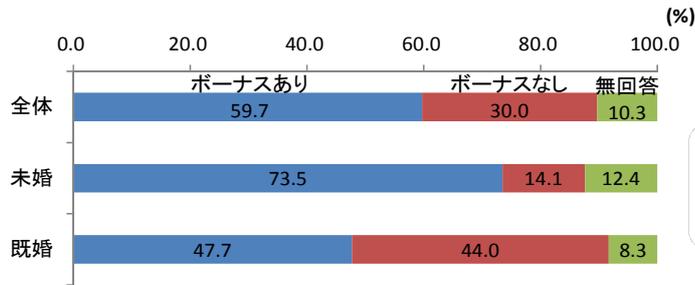
(5) 貯蓄の目的

	全体	未婚	既婚			
第1位	老後の備え	58.1%	老後の備え	52.5%	老後の備え	63.5%
第2位	旅行・レジャー資金	42.4%	旅行・レジャー資金	49.8%	子どもの教育資金	46.8%
第3位	病気や不測の事態の備え	27.5%	病気や不測の事態の備え	31.4%	旅行・レジャー資金	36.1%

・「老後の備え」が最も多く、全体では前回より18.1ポイント、未婚15.8ポイント、既婚20.1ポイント増加。
 ・全体では「旅行・レジャー資金」が前回より5.5ポイント増加しており、消費意欲が垣間見れる。

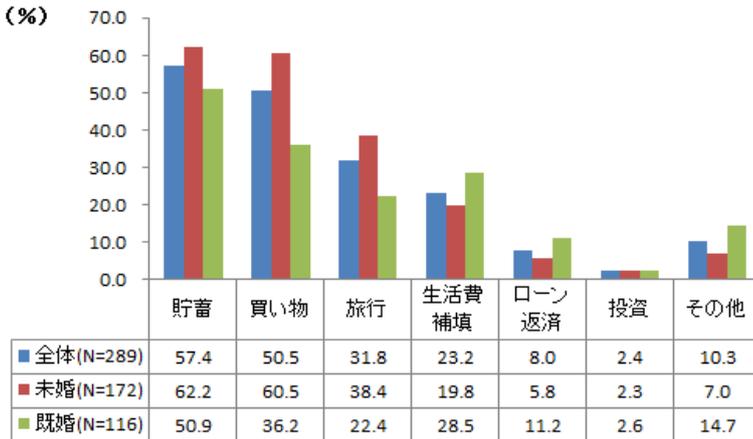
3. ボーナスについて

(1) ボーナスの支給



・2017年夏のボーナスが「ある」人は全体で6割近くを占めている。

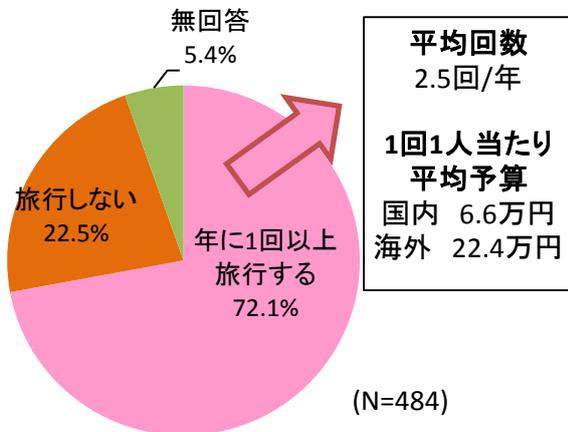
(2) ボーナスの使い道



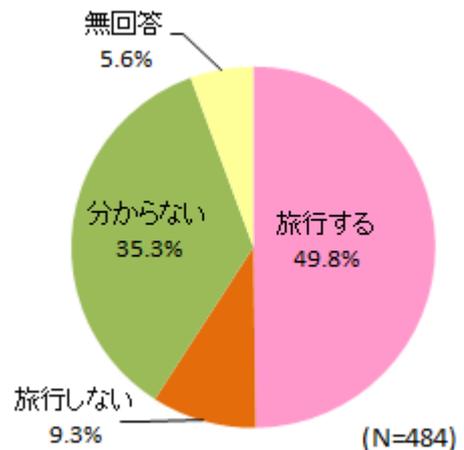
- ・2017年夏のボーナスの使い道として、「貯蓄」が最も多いのは、例年通り。
- ・「買い物」は未婚が前回より4.4ポイント増加。
- ・「旅行」も未婚が前回より1.7ポイント増加。⇒未婚において、消費意欲の高まりがうかがえる。

4. 旅行について (新設項目)

(1) 1年間に旅行する回数 (日帰り除く)



(2) 有給休暇が増えたら旅行をするか



- ・1年間に旅行を1回以上「する」人の方が多く、7割以上を占めている。平均回数は年に2.5回。
- ・有給休暇がもし増えたら、旅行を「する」という人は、半数近くを占めており、旅行への意欲が高い人が多いことがうかがえる。

●女性が仕事を長く続けるためには、「やりがい」などの精神面だけでなく、「給料」や「休暇」などの職場環境等も整えていくことが重要となってくる。企業としては、個々人の仕事へのモチベーションをどのように高めしていくかなどを考えていく必要がある。

●ボーナスで旅行や買い物に使う人が増加傾向にあるなど、消費意欲の高まりが少しずつ見えてきている。

●依然として、老後への関心は高く、将来に対する備えへの意識が高い人が多い。

⇒少しずつ消費意欲も垣間見えるものの、将来への備えのためにと貯蓄をしている人も多く、堅実な人がまだまだ多い。